

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人長岡東山福祉会



令和3年度社会福祉法人長岡東山福祉会重点施策及び運営方針に基づき、次の事業を実施した。

**【社会福祉法人長岡東山福祉会本部事業】**

**事業運営の成果**

**(1) 理事会の開催状況**

開催日	出席者数	議案
6月2日	理事6/6名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について（報告）</li> <li>・ 令和2年度社会福祉法人長岡東山福祉会支出予算の流用について（報告）</li> <li>・ 「特別養護老人ホームかつぼ園特殊浴槽・座浴機入替整備事業」に伴う入札結果について（報告）</li> <li>・ 令和2年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業報告及び決算、並びに監査報告について</li> <li>・ 特別養護老人ホームかつぼ園及び短期入所事業かつぼ園の個室化改修工事について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会理事・監事の任期満了に伴う推薦について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会評議員の任期満了に伴う推薦について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会評議員選任・解任委員会の選任について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等給与規則の一部改正について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会定款第22条並びに定款細則第10条の規定による施設長等の選任について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会定款細則の一部改正について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会福祉サービスに関する苦情解決実施要項の一部改正について</li> <li>・ デイサービスセンターかつぼ園指定通所介護・介護予防通所サービス運営規程の一部改正について</li> <li>・ 長岡市デイサービスセンターふそき指定通所介護・介護予防通所サービス運営規程の一部改正について</li> <li>・ 長岡市デイサービスセンターふそき指定認知症対応型通所介護（指定介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会評議員選任・解任委員会の招集について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会定時評議員会の招集について</li> </ul>
6月16日	理事6/6名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会理事長及び業務執行理事の選定について</li> <li>・ 長岡市デイサービスセンターふそきくらし元気アップ事業運営規程の一部改正について</li> </ul>
12月23日	理事6/6名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会支出予算の流用について（報告）</li> <li>・ 理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について（報告）</li> <li>・ デイサービスセンターかつぼ園指定通所介護・介護予防通所サービス運営規程の一部改正について</li> <li>・ 長岡市デイサービスセンターふそき指定通所介護・介護予防通所サービス運営規程の一部改正について</li> </ul>

開催日	出席者数	議案
12月23日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡市デイサービスセンターふそきくらし元気アップ事業運営規程の一部改正について</li> <li>・令和3年度社会福祉法人長岡東山福祉会第1次補正予算について</li> <li>・「特別養護老人ホームかつぼ園多床室個室化工事整備事業」の進捗状況について</li> </ul>
3月25日	理事6／6名 (監事2／2名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について（報告）</li> <li>・令和2年度高齢者施設等防災・減災設備等整備補助金の額の確定について</li> <li>・令和3年度社会福祉法人長岡東山福祉会第2次補正予算について</li> <li>・令和4年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業計画並びに当初予算について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会管理運営規則の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会嘱託職員就業規則の制定について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等給与規則の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会経理規程の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会 SNS 運用方針の制定について</li> <li>・役員等賠償責任保険の契約について</li> </ul>

## (2) 定時評議員会の開催状況

開催日	出席者数	議案
6月16日	7／7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業報告及び決算、並びに監査報告について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会理事及び監事の選任について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部改正について</li> <li>・令和2年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業計画並びに当初予算について（報告）</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会中期計画（令和3年4月～令和6年3月）について（報告）</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会事務局局長及び特別養護老人ホームかつぼ園・福祉センターふそきセンター長の退任並びに選任について（報告）</li> <li>・「特別養護老人ホームかつぼ園」西側森林等伐採及び間伐による整備事業について（報告）</li> <li>・「特別養護老人ホームかつぼ園」特浴機・座浴機入替整備事業について（報告）</li> <li>・「特別養護老人ホームかつぼ園」交付金内定に伴う、多床室個室化工事整備事業について（報告）</li> </ul>

### (3) 法人本部の取り組み

- ・中期経営計画に沿ったアクションプランを各部署が再検討し達成に向けて取り組んだ。また四半期ごとにエビデンスに基づいた検証を行い、それに対して改善策を示すことで PDCA サイクルを回すことを目指した。今後も継続し取り組んでいく。
- ・法人本部として全事業所の収支改善を目標に掲げ取り組んだ。人員配置の見直しや業務改善について計画的に取り組んだが、様々な課題が浮き彫りとなった。今後ひとつひとつ解決していく。
- ・職員の資質向上を主な目的として再構築した人事考課制度の運用を開始し、概ねスケジュール通り実施できた。初めて考課をする役職者も多く研修を複数回行ったが、考課者によって評価にばらつきが出てしまった。今後も川原経営の支援を受け適正な運用に向けて取り組んでいく。
- ・令和3年度もコロナ禍による法人行事等の自粛により、地域との交流の機会が持てなかった。

### (4) 専門委員会

#### ① 人材育成委員会

前年度同様、研修計画一覧表・参加シート・振り返りシートを事前に配布し、職員個々が研修の把握、振り返りができるよう実施した。感染症対策研修は年3回実施した。またキャリアパス研修は外部講師へ依頼し感染予防対策として密にならないよう動画視聴による形式を取り入れた。

#### <資料> 研修内容

開催月	定期研修	職種別研修・その他
5	食中毒予防と発生時の対応について（感染対策委員会主催） 接遇研修（人材育成委員会主催）	
6	身体的拘束適正化研修（委員会主催） リスク管理研修（委員会主催）	
7	個人情報保護とプライバシー保護について（地域包括主催） 高齢者の権利擁護・虐待防止等について（委員会主催）	
8	救急救命講習（看護職員主催）	
9	感染性胃腸炎・インフルエンザなどの感染対策について（委員会主催）	相談員研修（人材育成委員会主催） 看護職（入所施設）研修 キャリアパス1・2・3等級研修（動画視聴）
10	新型コロナウイルス発生時のシミュレーション（委員会主催）	介護支援専門員（入所施設）研修
11	リスク管理研修（委員会主催）	
12	身体的拘束適正化研修（委員会主催）	栄養士研修 看護職（在宅）研修 介護職研修（人材育成委員会主催） 介護支援専門員（在宅）研修
1	認知症ケア研修（人材育成委員会主催） ターミナルケア研修（係長主催）	

2	褥瘡予防ケア研修（各拠点分野担当主催） メンタルヘルス研修（労働衛生委員会）	
3		新人フォローアップ研修

## ② 法人防災委員会

各種災害のマニュアルがバラバラだったことから、法人で統一したマニュアルを作成した。今後はそれを基に各拠点のマニュアルを検討し再構築する。また業務継続計画の作成に着手し次年度の完成を予定する。

## ③ 入所検討委員会

待機者の傾向として複数の申し込みをしている方が多く、他施設への入所による取り下げが多かった。申込者については増減を繰り返し、かつぼ園の待機者人数は3月末時点で昨年とほぼ同じ人数となった。一方特養花の里については18%減少し、かつ介護度も低い傾向にある。申込者の年齢では90歳以上が増加した。

## ④ サービス向上委員会

入所者（利用者）及び家族による満足度調査について、回収率が年々低迷していたことから、設問がわかりやすいように様式の見直しを行ったところ、法人全体で7%あがった。入所系施設は面会再開の希望や利用中の様子を知りたいというご意見が多かった。通所系の事業所については、見学会や家族参観日を設けて欲しいというご意見が寄せられた。ご利用中の様子がタイムリーにわかる取組が必要であることがわかった。

## ⑤ 広報委員会

広報『東山通信』（年3回発行）は昨年に引き続き、多くの行事が中止となり掲載できなかったが、コロナ禍であっても各事業所が工夫し活動している内容を発信できた。

Instagramの法人アカウントを11月に開設し、各事業所の日々の活動や行事等を掲載した。年度末までの投稿数120件、フォロワー500人に達した。掲載に対して批判的なご意見もあったが、面会制限等を余儀なくされる中でも、ご利用者が楽しそうにしている様子が伺えて良かったとのご家族からのコメントも多く寄せられた。

## ⑥ 納涼祭実行委員会

感染症まん延防止のため令和3年度も中止した。令和4年度以降も感染対策は不可欠と思われることから、地域貢献に関する行事として見直しを行う。

## （5）職員の動向

前年度と比較し退職者が多かった。理由は様々だったが、人間関係等に起因する事由も多数あったことから、小さな悩み事等を気軽に相談できる体制の構築が必須だとわかった。またパート職員の退職に関しては、思っていた業務内容と違っていたという理由が多かった。

資格取得率については、介護支援専門員についてはチャレンジする職員が増えたことで合格者数も増えた。

### <資料>

#### ① 採用者・退職者数

単位：人（実数）

雇用形態	採用者数		退職者数	
	正規・準	パート	正規・準	パート
R3年度	5	7	15	10
R2年度	21	3	19	1

② 資格保有状況 (R4. 3. 31 現在)

単位：人 (実数)

区分	かつぼ園	福祉センターふそき	ケアセンター花の里	合計
総職員数	101	50	39	190
介護福祉士	59	23	28	110
社会福祉士	3	8	2	13
看護師	4	4	2	10
准看護師	4	1	1	6
管理栄養士	2	0	1	3
理学・作業療法士	2	0	0	2
介護支援専門員	17	13	6	36

\*介護支援専門員は有効期限内の職員のみ

(6) 地域連携等に関すること

① 花華クラブ

- ・令和3年度も感染対策を講じながら、屋外の活動を主に実施した。しかし天候不順や感染症の蔓延により、年間17回予定していた活動は4回となってしまった。

② レインボー健康体操

- ・コロナ禍により上半期とまん延防止等重点措置期間の定例教室を中止した。この間、参加登録者に自宅でできるエクササイズのチラシを作成し紹介した。参加登録者から「自宅がんばってみる等」の意欲的な言葉が聞かれた。10月から再開し感染対策を講じながら実施できた。なお、入所施設の花の里かつぼ会場については入居者との接触の可能性があるので開催できなかった。また、外部団体への講師出向も通年見合わせた。

<資料>

高齢者センターふそき

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度		R3年度	R2年度	R3年度	R2年度
4	0	0	0	0	10	2	0	48	0
5	0	0	0	0	11	4	2	104	57
6	0	0	0	0	12	4	0	100	0
7	0	0	0	0	1	2	0	39	0
8	0	0	0	0	2	0	0	0	0
9	0	0	0	0	3	3	0	30	0
合 計						15	2	321	57

③ 花壇イベント

感染症予防対策のため地域を巻き込んでの春・秋の花壇イベントは中止したが、法人内職員約20名が集まり花壇整備作業を行った。

④ 講師派遣 (アクティビティ、フラワーアレンジメント、介護保険講義、栄養講義等)

感染症予防対策のためすべての講師派遣事業を中止した。

(7) その他

① 介護予防教室「お元気学校」

令和3年度は感染症まん延防止等の措置期間や感染拡大期に開催を見合わせたが、参加者からは活動を望む声が多く寄せられたことから、飲食を控えて時間を短縮して再開した。軽体操（脳トレ体操）、ミニゲーム、作品作り（ちぎり絵・マグカップ作り・せっけん作り）、フラワーアレンジメント、外出（栃尾みちの駅・弥彦・長岡市立科学博物館）等参加者の希望を取り入れた多彩な活動を行い、皆さんから大変喜んでいただけた。

お元気学校参加人数 単位（人）

実施回数		延べ参加人数	
R3年度	R2年度	R3年度	R2年度
13	18	121	187

## ② 介護体験教室

1月9日、昨年に引き続き山本中学校1年生の総合学習の依頼を受け実施した。法人の若手職員が担当となり、介護の魅力や地域貢献に関わる楽しさなどを生徒さんに紹介した。

法人紹介動画の視聴、体中に重りを付けたままのレインボー体操の体験、福祉業者の協力を得て最新式の手すりや歩行器等の福祉機器の体験等を実施した。

生徒の皆さんから「今日の体験を通して高齢者が日常生活を送ることの大変さや気持ちを体験でき有意義な時間を過ごすことができた。」とか「中学生の私に何かできることがあるか、また同居している祖父母のサポートをしたいと思った。」等の手紙が寄せられた。実施後アンケートでは17名の参加者のうち9名から「将来福祉の仕事をしてみたい」との回答があり、これらを広報誌等で地域に発信した。

## ③ 新型コロナウイルス感染症予防対策等について

日々変化する感染状況を受けて、入所系施設の面会や濃厚接触者となった職員への対応等、その都度本部職員で協議し職員に向けて即時方針を発信した。

下半期は、職員自身や同居家族が濃厚接触者となり出勤できないケースが相次ぎ、現場の混乱が続いた。また通所事業については、ご利用者やそのご家族が感染または濃厚接触者となったため、営業を見合わせる等の対応を取らざるを得ない日が令和2年度より多く発生し、事業所の収益に影響が出た。

## ④ 苦情内容（法人）

法人あて	内容	申出者 匿名（長岡市介護保険課へのメール及び法人あてのメール） 「インスタグラムに親族の顔写真が掲載されているが、プライバシーの観点から問題はないのか」という主旨の内容がメールで届いた。 匿名だったため、ご利用者のお名前を教えてください、事業所へ直接連絡をいただきたい旨を返信したが、その内容についての返答はなかった。
	対応について	インスタグラムを始めるにあたり、運用方針を作成し法人サービスのご利用者やご家族に対して、事業所が一人ひとり説明したうえで文書にて同意をいただき、許可していただいた方の写真のみ掲載していた。苦情について市より情報提供を受けた後に再度全員に説明と確認を行い、新たに同意書も取り直した。また SNS 運用方針も見直し理事会に諮り承認を得たうえで、3月より写真の掲載を再開した。
	ご利用者やご家族の反応	ご家族からは事業所や法人宛てに、「コロナ禍で面会が思うようにできないが、施設の暮らしがわかって良い」「もっと身内が写っている写真を掲載してほしい」というご意見が多数寄せられている。



## 【拠点・特別養護老人ホームかつぼ園】

### 1. 事業運営の成果

#### (1) 総務課

##### ① 事務係

- ・財務分析については予算達成率の異常値のポイントを明確にし、要点をまとめた報告をしたことにより事業所間と情報共有ができ、より実績に沿った補正予算や月次収支分析につなげることができた。
- ・事務用品の一部購入を法人一括購入にし、経費削減等次年度予算に反映することができた。今後は物品の範囲を広げ継続していく。
- ・オンライン面会時の機器の設定、マニュアルの整備を行ったことで窓口対応をスムーズに行うことができた。また、接遇自己評価や振り返りを継続的に実施し目標となる評価につながった。
- ・紙媒体での保管からデータ保管に移行する検討を実施し、預り証については次年度データ保管管理にすることができた。引き続き検討継続していく。
- ・拠点間共通マニュアル作成については拠点毎のマニュアルと参考資料の確認にとどまった。
- ・個々の課題を育成プログラムから見出し、課題に取り組んだ。取り組みは継続中だが、課題を意識できたことは次のステップにつながる良い取り組みになった。
- ・経理規程の「契約」については重要なポイントを押さえた研修を実施しより公平、透明性の確保に努めた。

##### ② 総務係

- ・各事業所物品購入5年計画表を作成し、次年度予算に取り込むことができた。物品を集約見積依頼することで物品単価を抑える事ができた。
- ・ピッチ、ナースコール入替計画は各メーカー及び代理店から幅広い商品の提案を受け、デモンストレーション等を行い、機種選定に至った。電波法改正時期が1年延びたことで工事を来年度・再来年度に分散し進める。
- ・施設紹介動画を撮影作成。個室化工事のため、動画公開が遅れた。
- ・インスタグラムのページ開設を行い、ホームページと合わせて施設行事記事を掲載。3月末時点で掲載記事120件、フォロワー数500名。
- ・管理員業務の取りまとめを行い、業務見直し・業務分担を行った。しかし、管理員離職等によりパート採用等試みたが定着には至らなかった。
- ・清掃業務共有化を図り、清掃管理員全員ですべての業務を行えるようになった。
- ・年度を通し退職者と面談・聞き取りを行い、離職理由・職場環境等の意見を取りまとめたが離職者減につながる具体的な施策の立案までには至らなかった。

#### (2) 施設サービス課（特別養護老人ホームかつぼ園）

##### ① 1・2係

- ・科学的介護情報システム(LIFE)の登録し準備を進め、8月より新たな加算を算定したが、一部準備が遅れた加算については11月からの算定となり、収益に大きな影響が出た。また、施設案内パンフレットを見直し、入所希望者や居宅事業所、病院等に配付し稼働率の安定に取り組んだ。

- ・感染症対策のための国の補助事業により、感染症発生時4人部屋を速やかに区切り個室化することが可能となった。そのことによって一人当たりの面積はやや狭くなったが、プライベートな空間ができたと一部のご利用者は喜んでおられた。またパンフレットにも居室の写真を掲載し感染症対策について周知することで、問い合わせも増えた。
- ・男性の入所希望者が待機者全体の40%に増えたことから、男女のベット割合を見直し、スムーズな受け入れを行う事ができた。
- ・面会制限が長引いたため、ご家族の安心に繋がるように毎月お便りを発行した。また、zoomやLINEによる面会時の対応についてのアンケートを実施し、回答されたご家族全員から「満足している」と評価を頂く事ができた。
- ・有事の際に的確な行動ができるよう、感染症予防対策訓練を年3回実施した。その結果、職員の不安解消に繋がるとともに、マニュアルも修正することができた。
- ・職員のサービスマナー向上のため接客について意識して取り組み、年2回振り返りを実施したことで、ご利用者への言葉かけや、職員の身だしなみ等に対する職員の意識が向上した。また、外部の方から「挨拶が良い」と評価を頂く事ができた。
- ・職員間の業務に対する協力体制や効率化を図る為、役割分担等の検討を重ね取り組んだ。その取り組みにより職員相互で協力し合える情報共有が図られ、少しの空き時間を有効活用する事ができ、結果超過勤務削減に繋げることができた。

## ② 医務係

- ・ご利用者の健康管理を行い、主治医や協力病院との連携の元、本人あるいはご家族の意思を確認しながら望まれる療養生活を送られるよう支援した。
- ・新型コロナウイルスを持ち込まないことを全職員に徹底する取組を行い、感染の発生を防ぐことができた。
- ・協力病院から、新型コロナワクチン予防接種の手技や注意事項等の情報提供を得て、迅速かつ安全に実施できた。
- ・寄り添う看取りケアについてご家族に説明を行った。また今後活かせるよう看取り後の振り返りを実施した。
- ・口腔内の清潔保持等、口腔ケアを重点的に行い誤嚥性肺炎の予防に努めた。それにより口臭の強いご利用者が減ったと他職種からも評価された。また、医師からの指示を受けやすくするために情報共有の方法を工夫することで、自立支援促進に関する評価を実施できた。
- ・介護職員へ医療的な事項に関する研修を年3回実施し、日常ケアの質の向上を図った。

## ③ 給食係

- ・看取り介護の一環として、少しでも口当たり良く食べられるものはないか他職種と検討を重ね、最期まで口から食べる喜びを感じられる食事支援を行った。
- ・低栄養の予防と改善を目標に、食事形態を6段階と細かく対応し、ご利用者一人ひとりにあった栄養ケアマネジメントを行い食事提供できた。また定期的に見直しを行い、個々のご利用者の栄養状態を把握するとともに、その維持・向上に努めた。
- ・ご利用者の重度化により、離床が難しい方、疲れやすく全量摂取が困難な方に対して、配膳時間の調整、食事内容の検討を行い、負担の少ない食事提供方法を実践した。
- ・月に1回程度、委託業者と連携し季節に合わせた行事食やバイキング、大手外食チェーン店とのコラボ給食、味ごよみ献立を実施した。特にバイキング（スイーツ・寿司）と給食業者からの「感謝スイーツ」が好評だった。

- ・食事だよりを作成し、食事の様子や食に関する情報について、ご家族含め外部に発信することができた。

#### ④ 機能訓練係

- ・個別機能訓練加算等の算定のため、計画書や定期的な ADL 評価等、必要なデータを作成・確認した。管理表を作成し他職種と情報共有を行った。
- ・今年度より、外部の理学療法士が行う軽体操に加えて、月に 2 回施設の機能訓練指導員による軽体操を実施した。また脳トレや身体を動かすレクリエーションを取り入れる事で楽しく活動に参加して頂けるよう努めた。ご利用者からは、「また参加したいのでリハビリの日を教えてください」との声が多数聞かれた。
- ・余暇係と協働し、調理クラブの活動を支援した。安全性を確保した上で、なるべくご利用者主体での活動となるよう作業工程や環境設定等において助言を行った。また季節の掲示物やイベントに向けた作品作りも他職種と協議し、作業活動の一環としてご利用者と制作活動を行った。
- ・褥瘡分野担当の介護職員と協働し、臥床時間が長いご利用者に対し個々のポジショニングや車椅子乗車中の姿勢調整について適宜検討を行った。写真での周知も行いながら、どの職員でも再現性があるものとなるよう工夫し取り組んだ。また研修の中でスライディングシートの活用方法の確認する場を設け、ご利用者・職員ともに負担なく適切な位置に移乗が行えるよう情報発信した。
- ・面会制限が続く中、ご家族に対しリハビリ便りを新たに発刊し、ご利用者が楽しく身体を動かされている姿や、個別機能訓練の取り組み内容について発信した。

### 資料 1 <入所者の状況>

#### ① 入退所状況

単位：人（実数）

退所の状況					
状況	在宅	施設で死亡 ※1（ ）	協力病院 入院中死亡	病院等へ入院 のため退所	合計
R3 年度	0	42(38)	1	4	47
R2 年度	0	39(36)	0	0	39

※1（ ）ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

入所前の状況						
状況	在宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病院	法人グループ ホーム	合計
R3 年度	20	4	11	10	0	45
R2 年度	14	9	9	4	1	37

#### ② 年度末介護度別数（令和 4 年 3 月 31 日現在）

単位：人（実数）

介護度 年度	要介護度 1	要介護度 2	要介護度 3	要介護度 4	要介護度 5	合計
R3 年度	0	1	23	39	41	104
R2 年度	1	1	23	33	46	104

③ 月別利用数

単位：人（延べ数）

R3 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率		
	人数	3,089	3,195	3,091	3,212	3,207	3,069			37,529	98.9%
月	10	11	12	1	2	3					
人数	3,104	3,074	3,205	3,185	2,891	3,207					
R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率		
	人数	3,079	3,190	3,115	3,222	3,203	3,090			37,679	99.3%
	月	10	11	12	1	2	3				
	人数	3,192	3,087	3,186	3,191	2,908	3,216				

④ 介護度別利用数

単位：人（延べ数）

R3 年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	201	365	8,175	13,137	15,651		
R2 年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	365	365	6,781	12,011	18,157		

⑤ 日常生活動作（令和4年3月31日現在） 単位：人（実数）

生活動作尺度	区 分	R3 年度	R2 年度
移 動	独歩	5	2
	介助・介助具使用	15	15
	車椅子	84	85
食 事	自立	53	52
	見守り	0	0
	一部介助	30	24
	全介助	17	20
	経管栄養	4	6
排 泄 (日 中)	トイレ 自立	8	3
	一部介助	26	30
	全介助	3	5
	ポータブルトイレ・自立	6	4
	一部介助	6	5
	全介助	0	0
	オムツ	46	49
フォーレ	9	6	
入 浴	一般浴	18	20
	座浴	35	32
	特浴	51	50

⑥ 食事形態（令和4年3月31日現在） 単位：食（実数）

主食		副食	
米飯	15	普通	16
粥	53	刻み	17
粥ミキサー	26	小刻み	21

パン	1	超刻み	19
パン粥	5	ミキサー	24
経管栄養	4	ムース	3

**資料2 <余暇活動等>** コロナ禍のため、予定していた一部活動を中止した。

① 余暇活動の実績

単位：人

月	余暇活動内容	参加人数
4	ふれあいタイム	32
	喫茶	50
	お花見ドライブ	4
	カラオケ	中止
5	すこやかともしび祭作品作り	41
	おはぎ作り	8
	ふれあいタイム	43
	喫茶	54
6	ふれあいタイム	18
	すこやかともしび祭作品作り	8
	ドライブ	4
	喫茶	47
7	カラオケ大会	中止
	喫茶	56
	作品作り	2
8	盆供養会	20
	すいか割り大会	20
	喫茶	55
	映写会	20
	作品作り	6
9	おはぎ作り	中止
	敬老会	20
	喫茶	49
10	大運動会	20
	喫茶	25
	ふれあい	68
	カラオケ	中止
11	外出ドライブ	2
	カラオケ	中止
	喫茶	49
12	喫茶	55
1	新年会	45
	絵馬づくり	43
	喫茶	55

2	節分	20
	風船バレー	27
	喫茶	54
3	春を迎える会	21
	喫茶	54
合 計		1,095

## ② クラブ活動の実績

クラブ名	実施回数	延べ参加人数
調理クラブ	5	40
書道クラブ	12	105
生け花クラブ	12	138
合 計	29	283

## ③ 特養花華クラブ参加状況（家族協力会協賛）

コロナ禍のため、ご家族の参加は中止とした。

単位：人

月	実施回数	参加人数		内 容
		入所者	家族	
6	1	12	0	夏のプランター作り
7	1	12	0	風鈴短冊作り
9	1	12	0	菜の花の種まき
10	1	12	0	秋のプランター作り
12	1	12	0	葉ボタンの植え付け
合計	5	60	0	

## (3) 施設サービス課（短期入所事業かつぼ園）

- ・地域の特性やご利用者の嗜好を探り、利用する楽しみに繋がる余暇活動に取り組んだ。午前、午後とも身体を動かしたり季節の設えを作ったりと活動の幅を広げた。また畑では花や野菜の栽培に取り組み、種蒔きから苗の管理をご利用者と協力して行い、収穫した野菜を調理し皆さんで味わう事ができ、喜びや満足の声が聞かれた。それらの活動内容はホームページやお便りで発信している。また、SNS ではタイムリーな情報発信を意識し、当日中の更新を心掛けた。
- ・使用していなかった職員用浴室をご利用者の個浴として改修した。1人ずつゆっくり入浴でき、職員とコミュニケーションが深まり、安心感や満足感に繋がった。
- ・機能訓練指導員による余暇や体操を時間調整等の連携を図り実践できた。「握り寿司」等調理余暇は、管理栄養士や委託業者の協力を得て実施した。会場作り等の事前準備をご利用者と一緒に進めたことで、当日を楽しみにされる様子が伺えた。
- ・看護職と介護職がご利用者の体調や対応について速やかに情報共有を行い、迅速な支援に繋げることができた。新規ご利用者の受入では、対応の留意点や事前訪問時の確認事項等速やかな情報共有を図ることで、職員全員による受入という意識が深まった。
- ・施設サービス課として、特養と連携し協力体制を取る事で、入退所数やご利用者数によって日々変動する業務に対応することができた。また特養への入所希望者がスムーズに併設特養に入所できるよう取り組み、ご家族も含め安心感に繋がった。

- ・稼働率改善の為、月初め以外でも空室発生時居宅介護事業所へ情報発信した。また、ご利用者個々の生活背景（困窮・緊急等）、認知症の状況で断ることなく前向きかつ迅速な受入を継続した。対応が難しいご利用者については、事業所内で検討等を実施し、ご利用者の安心感に繋がる関りや職員の負担軽減に努めた。取り組みの結果、居宅介護事業所から相談・依頼が定期的が続いており関係性を構築することができた。

## 資料＜利用者の状況＞

### ① 市別利用数

単位：人・日（延べ数）

年度	長岡市		見附市		合計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
R3 年度	1,211	6,935	38	440	1,234	7,375
R2 年度	1,079	6,772	83	369	1,162	7,141

### ② 月別利用数（ ）内は予防短期入所生活介護利用数

単位：人（延べ数）

R3 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率		
	人数	453 (15)	519 (9)	587 (2)	634 (2)	656 (0)	627 (0)			7,327 (48)	101.1%
月	10	11	12	1	2	3					
人数	623 (0)	656 (0)	669 (0)	627 (3)	643 (12)	681 (5)					
R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率		
	人数	562 (8)	573 (6)	653 (9)	673 (9)	598 (9)	618 (11)			6,990 (151)	97.9%
	月	10	11	12	1	2	3				
	人数	545 (11)	564 (17)	545 (19)	602 (19)	561 (11)	496 (22)				

### ③ 介護度別利用数

単位：人（延べ数）

R3 年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	48	469	1,157	2,482	1,984	1,235		
R2 年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	151	408	1,668	1,735	1,631	1,548		

## （４）在宅サービス課（デイサービスセンターかつぼ園）

- ・新規ご利用者確保と稼働率向上のため、多くの居宅介護支援事業所を訪問し空き情報の発信を行った。あわせて法人ホームページ等の SNS を活用し情報発信を行った。またキャンセルされた方へ振替利用の提案等を実施することで、年間稼働率の目標を達成することができた。しかし他法人の居宅支援事業所からの新規の依頼は少なかった。
- ・ご利用者や職員が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者となったため、年間 3 日間休業を余儀なくされ稼働率に影響が出た。
- ・職員の資質向上のため、動画配信による外部研修へ参加し、その内容を伝達研修で事業所内に周知した。また新たな加算算定のため、法人内の専門職（理学療法士・管理栄養士）

に依頼し口腔ケアについての事業所内研修を実施した。それにより職員の口腔ケアに治  
 する意識向上が図られ、日々のケアへ活かすことができた。

- ・個別機能訓練を希望されるご利用者が多い状態が継続しており、理学療法士の訓練や働き  
 かけで目的意識を持ってご利用者は取り組んでおられた。約 7 割以上の方が訓練を希望  
 されており、加算収益も大幅に増加した。
- ・計画した行事については感染対策を講じた上で実施でき、多数のご利用者が参加できた。  
 アクティビティについては、活動を複数準備し、ご利用者自らが選択する形を取り入れた。  
 また作成した作品を用いカレンダーを制作・配付したが、ご利用者からは達成感を感じて  
 いただけるものとなり好評であった。

## 資料<利用者の状況>

### ① 登録者数 単位：人（実数）

区分 年度	長岡市	見附市	合計
R3 年度	76	4	80
R2 年度	80	4	84

### ② 利用者数 単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市	見附市	合計	稼働日数	1日あたり 平均人数
R3 年度	8,041	321	8,362	361	23.2
R2 年度	7,677	252	7,929	364	21.8

### ③ 月別利用数

（ ）内は予防通所サービス利用数 単位：人（延べ数）

R3 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	677 (22)	680 (26)	706 (25)	731 (25)	733 (20)	703 (16)		
月	10	11	12	1	2	3			
人数	711 (18)	687 (12)	696 (13)	589 (18)	617 (6)	624 (7)			
R2 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	597 (40)	627 (48)	602 (41)	652 (38)	658 (37)	683 (32)	7,484 (445)	87.1%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	653 (31)	634 (40)	623 (39)	564 (35)	541 (35)	650 (29)		

### ④ 介護度別利用者数 単位：人（延べ数）

R3 年 度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	208	1,754	2,621	1,935	1,153	691		



R2 年 度	介護 度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	445	1,626	2,260	2,285	810	503	7,929	2.51

### ⑤行事計画

単位：人(延べ数)

月	行事計画	参加人数
4	お花見ドライブ(歩行訓練)	9
5	とくし丸買物(2日間)	4
7	七夕祭り	24
8	フラワーアレンジメント教室	8
	デイ夏祭り(2日間)	50
9	敬老会	24
10	とくし丸買物(2日間)	6
	秋の運動会(2日間)	47
11	とくし丸買物(2日間)	3
	フラワーアレンジメント教室(2日間) 作品展示会	11 14日間実施
12	クリスマス会(2日間)	45
	鏡餅作り	20
1	新年会(2日間)	50
3	年度末感謝祭(3日間)	59
合計		360

### (5) 在宅サービス課(在宅介護支援センターかつぼ園)

- ・職員個々の請求件数を明確にし、各担当のご利用者の動向を管理者が把握し、事業所内での情報共有を徹底したことで高い稼働率を維持することができた。また、ご利用者やご家族からの信頼を得られるように迅速な対応を心がけ、介護保険サービスに早期に繋げることができた。
- ・ご家族や法人内事業所、他サービス事業所との連携方法について見直しを行い、記録ソフトを活用したフェイスシートを作成し情報共有を図った。作成に係る時間は短縮できたが、使用にあたっては課題もあり今後も検討を重ねていく。またご家族の状況によってメール等を活用した連絡方法を提案し、お互いの都合に合わせたスムーズな連携が図れた。事業所間での活用については相手側の都合もあり進めることができなかった。
- ・認知症高齢者や在宅での看取りケアが増えているため、ZOOM研修に参加し「意思決定支援」のプロセスについて学び、支援のタイミングに合わせご利用者やご家族の意思や意向確認を行うように取り組んだ。また意思決定についてのマニュアルも整備することができた。
- ・多様化するケースに対応していくため、地域の社会資源や医療機関の役割、関係機関等の窓口の確認を行い、それを基に冊子を作成しご利用者、ご家族への支援に役立てることができた。

## 資料＜利用者の状況＞

### ① 居宅サービス計画作成数

単位：件（延べ数）

R3 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	136	139	144	141	141	139	1,687
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	138	139	144	144	142	140	
R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	133	128	129	137	140	140	1,609
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	138	136	134	128	131	135	

### ② 介護予防支援受託件数

単位：件（延べ数）

R3 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	23	23	23	22	23	24	281
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	25	23	23	24	24	24	
R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	22	24	23	25	23	22	275
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	22	22	22	24	23	23	

### ③ 介護予防ケアマネジメント受託件数

単位：件（延べ数）

R3 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	0	1	1	1	1	1	15
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	1	1	2	2	2	2	
R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	2	2	2	3	2	2	18
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	1	1	1	1	1	0	

### ④ 訪問調査件数

R3年度	138件	R2年度	84件
------	------	------	-----

## 2. ボランティア・実習生等の受け入れ

### ① ボランティアの受け入れ

令和3年度は新型コロナウイルス感染症のまん延や悪天候等により受け入れはできなかった。

## ② 施設及び居宅実習・体験実習等の受け入れ

受入事業所	区 分	R3 年度		R2 年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
特養かつぼ園	北陸福祉保育専門学院 (介護福祉士資格取得)	2	80	7	200
	北陸福祉保育専門学院 (管理栄養士資格取得)	1	10	2	20
	悠久山栄養調理専門学校 (調理師資格取得)	1	10	0	0
支援センター	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	12	24	20	40
合 計		16	124	29	260

## 3. 拠点委員会

### ① リスク管理委員会

- ・特養花の里の担当者とともに、安全対策担当者研修の内容を踏まえて指針の見直しを行った。6月、11月の研修ではリスクマネジメントの基礎を確認するとともに、事例を通し危険予測の知識を深め、新人職員だけではなく職員全体のリスクに対する意識を高めることができた。

### ② 食事サービス委員会

- ・四季に合わせた行事食や、イベント食を委託業者と協力し月に1回以上提供できた。味付け、見た目共にご利用者からは好評だった。また、食器の購入については必要数を現場と再確認することで過不足なく購入できた。

### ③ 防災委員会

- ・10月実施の夜間想定避難訓練については、昨年度に引き続き訓練状況を動画で撮影し、委員会で課題の洗い出しを行った。全体的に声だしが小さく指示が聞き取りにくかったこと、シートを利用しての避難誘導のやり方等改善が必要な事項が多かったが、トランシーバーの活用等改善できた点もあった。

### ④ 感染対策委員会

- ・今年で3年目になった新型コロナウイルス感染対策に重点を置き、毎月委員会を実施し常に感染の発生や拡大予防に努めた1年だった。
- ・入居者の居住スペースの個室化に伴いゾーニングを再確認し、職員それぞれの役割・動きの確認を実施し、有事の際の準備ができた。
- ・職員に濃厚接触者が発生した際は、関係各所で縦と横の連携を確実に言い、入居者への感染を予防できた。

### ⑤ 労働衛生委員会

- ・職員へ定期健康診断実施後の再受診について委員からの働きかけを継続した結果、再受診率もあがり、早期発見・早期治療に繋げることができた。委員会主催の研修は、メンタルヘルスケアの動画を視聴した。わかりやすかったという職員の声が多く寄せられた。

### ⑥ 身体拘束等廃止適正化委員会

- ・身体拘束廃止の意識をより高めるために、6月は基礎知識について12月は事例検討研修を実施した。また、やむを得ず身体拘束を行う場合は2ヶ月毎に検討会議を開き解除に向けて

検討会議を開催した。

**⑦高齢者虐待防止委員会**

- ・高齢者虐待防止指針の見直しを行い、虐待通報を受けた場合の検討から解決までをフロー図にまとめて7月に全職員対象の研修会を実施した。その際に「自己点検シート」を用いて各事業所の課題を挙げて解決に向けた取り組みを行った結果、「不適切なケアに繋がらないように気を付けたい」との意見が多く寄せられ、ケアの見直しに繋がった。

**⑧ 園芸委員会**

- ・コロナ禍で外出の機会が減ったご利用者の屋外活動として、観賞だけでなく花がら摘みや水やりを多くのご利用者と職員で行った。
- ・正面花壇に加えショートステイ花壇や裏庭での活動も行ったが、一画にとどまった。

**⑨ 痰の吸引等安全対策委員会**

- ・介護職員による安全な痰の吸引が実施できるように実技研修を2回実施した。医師から痰の吸引の指示を受けた入居者はいなかったが、時々痰の吸引が必要となる状況では安全に吸引を施行することができていた。

**4. 苦情（意見）内容**

なし

## 【拠点・福祉センターふそき】

### 1. 事業運営の成果

#### (1) 高齢者センターふそき

- ・令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により5月17日～6月15日までは閉館、1月21日～3月6日までまん延防止等重点措置により当初計画していた事業（自主事業含む）を予定通りに実施することができなかった。来館者総数は滞在時間の制限等もあり前期並みであった。新年度は新しい生活様式に対応した新たな事業の展開を検討していく。

#### 資料 <利用者の状況>

##### ① 利用者数

項目	年度	延べ人数	前年度比 (%)
専用室利用者	R3	7,541	104.4
	R2	7,225	
個人入館者	R3	4,863	89.9
	R2	5,410	
合計(総入館者)	R3	12,404	98.2
	R2	12,635	

##### ② 行事等の状況

#### フラワーアレンジメント

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度		R3年度	R2年度	R3年度	R2年度
4	1	0	10	0	10	1	1	6	8
5	1	0	10	0	11	1	1	8	11
6	0	0	0	0	12	1	1	10	10
7	1	0	4	0	1	1	1	11	4
8	1	0	4	0	2	0	1	0	6
9	0	1	0	11	3	0	1	0	11
合 計						8	7	63	61

#### 映写会

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度		R3年度	R2年度	R3年度	R2年度
4	0	0	0	0	10	0	1	0	9
5	0	0	0	0	11	0	1	0	12
6	0	0	0	0	12	0	1	0	6
7	0	0	0	0	1	0	1	0	3
8	0	1	0	5	2	0	1	0	9
9	0	1	0	13	3	0	1	0	7
合 計						0	8	0	64

その他

月	内 容	参加人数	
		R3 年度	R2 年度
12	はかま紙教室	6	8

## (2) 長岡市デイサービスセンターふそき

- ・一般型通所介護及び認知症対応型通所介護ともに、登録者数と延べ人数が減少した。外部環境的にも近隣に入所や通所介護事業所が多く、かつご利用者やご家族の多様化するニーズに対応できなかったことが大きな要因だと思われる。またご利用者やご家族の新型コロナウイルス感染による利用のキャンセルやそれに伴う休業（2日間）、ご家族が感染拡大地域へ行かれ安全のため休まれたご利用者がほぼ毎月おられたことも大きく影響した。
- ・認知症対応型通所介護は、稼働率の低迷により指定管理者（長岡市）と協議を行い、令和3年度より営業日を週5日に変更した。しかし入院者や施設入所者が多く、さらに稼働率が低下した。また認知症という言葉へのご利用者、ご家族の拒否的な感情等も聞かれ、新規利用に結びつかない場合が多かった。
- ・事業所内で多職種が意見を出しあい、通所介護サービス計画書については個別のニーズに即し作成することができた。また、感染対策を講じたうえで、職員による歌の会や夏祭り、敬老会等の行事を実施した。日々は脳トレーニング等の活動を多く取り、認知機能の予防を図ることができた。
- ・コロナ禍により地域との交流が難しく、特にご利用者が例年楽しみにしていた近隣保育園の園児と触れ合う機会が持てなかったが、園児の皆さんから花の苗をいただき、それを育てて成長の具合を保育園に報告する等の交流活動は実施できた。
- ・自主事業として感染拡大状況を鑑みながら、10月より地域住民へのレインボー健康体操へ職員を派遣した。参加者からは、体操の機会が減っていたので開催を心待ちにしていたと喜んでいただけた。
- ・障がい者の入浴を目的とした生活介護基準該当サービスの依頼が複数あり受け入れを行った。重度者が多く地域の社会資源としての役割を果たすことができた。
- ・情報発信の一環として「かわら版」を継続して地域へ配付・回覧を行った。

## 資料＜利用者の状況＞

### ① 登録者数

単位：人（実数）

年度	長岡市		合計
	一般型	認知症型	
R3	93	18	111
R2	110	21	131

### ② 利用者数

単位：人（延べ数）

年度	長岡市		合計	稼働日数	1日あたり 平均人数
	一般型	認知症型			
R3	8,402	1,874	10,276	363	30.3
R2	9,101	2,354	11,455	365	31.4

③ 月別利用数

( ) 内は予防通所介護及び予防通所サービス利用数

単位：人(延べ数)

R3 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	一般型		630 (95)	711 (85)	633 (97)	614 (96)	644 (98)	612 (106)	7,300 (1,102)
		10	11	12	1	2	3		
		610 (116)	575 (100)	595 (89)	579 (73)	508 (65)	589 (82)		
R2 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	認知症型		157 (0)	171 (0)	173 (0)	169 (0)	147 (0)	152 (0)	1,874 (0)
		10	11	12	1	2	3		
		152 (0)	156 (0)	155 (0)	152 (0)	145 (0)	145 (0)		
R3 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	一般型		624 (119)	655 (129)	628 (128)	675 (125)	660 (117)	654 (124)	7,689 (1,412)
		10	11	12	1	2	3		
		643 (122)	627 (114)	634 (122)	601 (113)	620 (96)	668 (103)		
R2 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	認知症型		247 (0)	225 (0)	238 (0)	244 (0)	211 (0)	194 (0)	2,354 (0)
		10	11	12	1	2	3		
		190 (0)	201 (0)	186 (0)	146 (0)	128 (0)	144 (0)		

④ 介護度別利用数

単位：人(延べ数)

R3 年 度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型		103	999	1,837	1,982	1,841	1,079	561	8,402
認知症型		0	0	423	242	706	287	216	1,874	2.80
R2 年 度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型	251	1,161	1,837	1,993	2,244	979	636	9,101	2.56
	認知症型	0	0	305	590	752	420	287	2,354	2.91

⑤ 生活介護基準該当サービス

単位：人(延べ数)

R3 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	4	5	4	4	14	11	261
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	22	37	44	39	37	40	

⑥ 行事等の状況

単位：人(延べ数)

月	行事内容	参加人数	
		R3 年度	R2 年度
7	ふそき夏まつり	30	27
9	長寿を祝う会	66	62
10	ふそき大運動会	51	0
12	クリスマス会	22	70
1	新年会	80	0
2	節分	35	0
		284	159

(3) くらし元気アップ事業「ふそき元気塾」

- ・地域包括支援センター等他機関と連携を図り、活動内容を事前に利用希望者に周知することで、内容を理解したうえで参加される方が増えトラブルが少なくなった。
- ・通所介護の新型コロナウイルス濃厚接触者が発生した影響を受け、合計2日間休業したため稼働率が下がった。しかし例年家庭の事情等で休まれる方が多いため、休まず利用された方へ皆勤賞を差し上げる工夫を行ったことで大幅な減少とはならなかった。
- ・感染対策を講じたうえで、法人の運動指導員による運動機能向上プログラムを組み込み、認知症予防や口腔機能向上講座を定期的を実施した。コロナ禍の中外出を控えているご利用者が多く、「ふそき元気塾」に出掛けることが楽しみであるという声を多くいただいた。

資料<利用者の状況>

① 利用者数

単位：人(延べ数)

R3 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	140	142	151	152	135	136	1,765	86.5%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	163	162	155	126	145	158		

  

R2 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	114	141	151	139	143	150	1,800	88.2%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	167	154	172	144	154	171		

(4) 介護プランセンターふそき

- ・毎週実施している居宅会議内でケースの動きを確認し、一人一人のケアマネが毎月の請求件数を意識しながら新規の受け入れを積極的に行った結果、要介護者、要支援者ともに計



画作成件数が増加した。

- ・新型コロナウイルス感染予防対策の為参加人数を制限しながらではあったが、他法人の主任介護支援専門員と協働で合同研修会を11月に開催し、地域の介護支援専門員の資質向上の機会を作ることが出来た。
- ・認定有効期間の関係で令和2年度は認定調査依頼が少なかったが、令和3年度は依頼件数が増えた（昨年比113件増）。

**資料<利用者の状況>**

① 居宅サービス計画作成数

単位：件（延べ数）

R3 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	138	132	137	136	142	137	1,613
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	136	132	135	127	132	129	
R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	124	124	129	128	131	132	1,555
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	129	130	132	132	132	132	

② 指定介護予防支援受託件数

単位：件（延べ数）

R3 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	11	10	12	13	11	14	158
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	14	14	15	15	15	14	
R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	11	12	11	12	10	11	130
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	11	12	10	10	10	10	

③ 介護予防ケアマネジメント受託件数

単位：件（延べ数）

R3 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	4	5	4	4	4	4	52
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	4	4	4	5	5	5	
R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	5	5	6	5	7	5	64
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	6	5	6	5	5	4	

④ 認定調査件数

R3 年度	199 件	R2 年度	86 件
-------	-------	-------	------

(5) 長岡市地域包括支援センターふそき（長岡市委託事業）

- ・新型コロナウイルス感染拡大を受けて実態把握の訪問ができない時期があり、昨年と比べ訪問件数が減少したが、地域からの電話相談は増えており、感染対策に留意し訪問、対応を行った。
- ・虐待ケースが増加傾向にあるが、地域関係者と連携を図り、適切な対応を行う事ができた。
- ・圏域会議を開催し会議の評価と困難事例の検討を行い、専門職として適切な助言を行った。

資料<利用者の状況>

① 総合相談支援業務

- ・相談人数 (単位：件)

年度	電話	来所	訪問	その他	合計	実態把握 年間実件数
R3	2129	261	979	184	3553	364
R2	2442	296	1117	210	4065	582

- ・相談経路 (単位：件)

年度	本人	継続	家族	民生委員	福祉機関	医療機関	地域機関	現況調査	行政機関	その他	合計
R3	61	1139	228	21	39	44	17	364	19	19	1,951
R2	108	1054	240	30	40	60	5	179	27	55	1,798

- ・相談内容 (単位：件)

相談内容		件数	
		R3 年度	R2 年度
介護保険	認定関係	179	479
	サービスの紹介	123	383
	苦情関係	4	0
	その他	80	615
小 計		382	1,477
介護保険外	介護方法や介護の悩み	7	54
	医療・疾病関係	18	59
	高齢者の介護予防	19	111
	配食サービス	0	19
	外出支援サービス	19	62
	生活支援サービス	48	82
	福祉機器	34	94
	住宅の増改築	5	26
	その他サービスの取次ぎ	6	33
介護保険外	虐待防止	375	3
	権利擁護・成年後見	2	2

	認知症・物忘れ	41	132
	その他	84	698
小 計		658	1375
合 計		1,044	2,852

② 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

年度	地域ケア会議 開催回数
R3	2
R2	4

③ 高齢者権利擁護業務

・虐待対応

年度	計画作成件数	延べ対応件数
R3	25	376
R2	16	298

・コア会議開催状況

年度	コア会議	評価会議	個別 ケース会議	終結会議	合計
R3	27	5	1	7	41
R2	16	4	0	8	28

④ 介護予防ケアマネジメント業務（年間延べ件数）

年度	直営	委託	合計
R3	635	248	883
R2	591	315	906

⑤ 介護予防支援業務（年間延べ件数）

年度	直営	委託	合計
R3	426	1741	2,167
R2	372	1685	2,057

・年間給付管理件数

年度	直営	委託	合計
R3	1061	1989	3,050
R2	963	2000	2,963

## 2. ボランティア・実習生の受け入れ状況

① ボランティアの受け入れ

令和3年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により受け入れができなかった。

## ② 実習・体験実習等の受け入れ

受入事業所	区 分	R3 年度		R2 年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
長岡市デイサービスセンターふそき	北陸福祉保育専門学院 (小学校教諭普通免許)	9	39	5	25
	新潟県社会福祉協議会 (介護等体験)	1	5	5	25
	長岡こども福祉カレッジ (レクリエーション実習)	9	18	9	18
介護プランセンターふそき	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	14	28	21	42
地域包括支援センターふそき	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	8	16	9	18
合 計		41	106	47	125

## 3. 拠点委員会

### ① リスク管理委員会

- 各部署で発生したアクシデント・インシデントレポートについて、情報の共有を図り、モニタリングを実施し再発防止に努めた。

### ② 防災委員会

- 年間を通じて様々な災害を想定した訓練を計画通り実施でき、職員の防災意識が高まった。
- 各種防災マニュアルを長岡市危機管理防災課からの助言に沿って見直しを行った。より現状に則したマニュアルが完成した。
- 防災訓練は感染予防に配慮し、避難誘導時は密を避けるため、屋外や2階を避難場所とし大声を出さないよう注意し実施した。

### ③ 感染対策委員会

- 新型コロナウイルス感染症を予防するため、各事業所の実情にあわせて業務の見直しを実施し、委員会内で情報を共有した。また研修では動画を活用し、新しい情報や知識を得ることができ、標準予防策の再確認が行なえた。感染経路や注意すべき事項を学ぶことで感染対策に活かすことができた。

### ④ 労働衛生委員会

- 委員会主催の研修については、メンタルヘルス研修の他、コロナワクチン、インフルエンザ予防接種状況の確認を法人に連絡し健康管理に努めた。

### ⑤ 身体拘束虐待廃止委員会

- 虐待の可能性を疑われる事例は確認されなかったが早期発見の視点について研修を実施した。

#### 4. 苦情（意見）内容

デイサービスセンターふそき	内容	申出人：ご本人 利用日の前日に迎え時間の連絡をもらうが、電話に出られなかったの で、こちらから電話をかけ直した。電話に出た職員が淡々と時間だけ を伝えてすぐに電話を切ってしまった。いつもなら「折り返しの電話 ありがとうございます」などのお礼の言葉を言ってくれるが、その時 は無かったので感じが悪かった。
	原因と 処理	前日の電話連絡は15時30分過ぎにかけたが、電話に出られずに折 り返しの電話をいただいたのが、16時頃であり送迎の準備に入っ ている時間帯であり、職員がゆっくり話をする時間が取れなかった。 電話の際は、毎回職員と会話をする事を楽しみにされている方だっ た。 サービスの利用時に、管理者よりお詫びし今後気を付けることを伝え ると了解された。
	改善策 (結果)	どなたでも折り返しの電話をいただいた時は、感謝の言葉を伝えて連 絡事項を伝えることをデイサービス会議で職員へ周知を行った。

## 【拠点・ケアセンター花の里かつぼ】

### 1. 事業運営の成果

#### (1) 特別養護老人ホーム花の里かつぼ

- ・入居者の重度化や高齢化に伴い、ターミナルケア対象者が増え、退所者が15名と例年に比べ2.5倍と非常に多く目標稼働率にわずかに届かなかったが、入退所に伴う空床期間の短縮に取り組み稼働率98.2%を保持できた。

#### ① 介護

- ・地域運営推進会議を通じて定期的に地域の方からご意見をいただく場を設けた。コロナ禍であったが、過度な接触を避けるなど活動内容が工夫されていると評価をいただいた。
- ・施設サービス計画に基づき、活動に制限がある中においても感染防止に努めながら季節に応じた余暇活動や行事のほか洗濯たたみ等の軽作業や園芸活動、ユニット花壇の散策等を実施し、入居者個々のニーズに沿った支援を行うことができた。
- ・研修計画に基づき、職員個々のスキルアップを図った。外部研修に参加できなかったが、オンラインによる研修に参加することができた。
- ・ご家族、入居者からの満足度調査や職員の自己評価から課題を見つけ、その改善に努めた。コロナ禍において面会制限を設けざるを得ない期間もあったが、感染対策を徹底し実施することができ、延べ165人とご家族との窓越し面会の回数はコロナ禍前より増加した。
- ・事業形態にあった人員配置や勤務時間の見直しを行ったが、それにあわせて入居者の生活パターンを守りつつ業務効率の良い方法を検討し実施できた。

#### ② 医務

- ・協力病院や主治医と連携を図り入居者の健康管理に努め疾病の早期発見、治療につなげることで、本人及びご家族が望む対応を実施することができた。治療を必要とする入院は8名だった。
- ・多職種やご家族と連携を図り安心安楽な最期を迎えられるようケアを行い、最期まで穏やかに過ごしていただき、入居者11人の看取り介護を行う事ができた。
- ・施設内に新型コロナウイルスを持ち込まないことを徹底し、感染予防に努めたことで、罹患される入居者はいなかった。
- ・協力病院や法人内の他施設と連携を図り、入居者と職員にトラブルなく新型コロナワクチン予防接種を実施できた。

#### ③ 給食

- ・コンセプトメニューや誕生日メニューでは、委託業者と連携をとり、入居者の要望を献立に取り入れることで、楽しみのある食事提供ができた。
- ・喫茶を定期的に行い、季節を感じられる菓子や装飾等の工夫や回想法等を取り入れ、生活意欲の向上に繋げることができた。
- ・食事の観察を行い、入居者の栄養状態の維持及び改善に繋がるよう、他職種で情報共有し、誤嚥の予防や経口維持の取り組みを行った。

## 資料 1 <入居者の状況>

### ① 入退所状況

単位：人（実数）

入所前の待機場所						
待機場所	在 宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病 院	法人グルー プホーム	合 計
R3 年度	0	4	6	2	3	15
R2 年度	2	1	0	2	1	6

退所の状況					
状 況	在 宅	施設内で死亡 ※1（ ）	病 院	他施設	合計
R3 年度	0	10（8）	5	0	15
R2 年度	0	4（4）	2	0	6

※1（ ）ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

### ② 年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要介護度 1	要介護度 2	要介護度 3	要介護度 4	要介護度 5	合計
	R3 年度		0	0	7	10	12
R2 年度		0	0	3	10	16	29

### ③ 月別利用数

単位：人（延べ数）

R3 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	852	896	867	889	870	851		
月	10	11	12	1	2	3			
人数	899	859	879	889	768	872			
R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	870	889	839	853	899	870	10,374	98.0
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	899	870	882	868	776	859		

### ④ 介護度別利用数

単位：人（延べ数）

R3 年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	0	0	1,660	3,951	4,780	10,391	4.30
R2 年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	0	0	1,562	2,758	6,054	10,374	4.42

### ⑤ 日常生活動作（令和 4 年 3 月 31 日現在） 単位：人（実数）

生活動作尺度	区 分	R3 年度	R2 年度
移 動	独歩	2	1
	介助・介助具使用	2	3
	車椅子	25	25
食 事	自立・見守り	19	14
	一部介助	3	3

食 事	全介助	6	11
	経管栄養	1	1
排 泄	トイレ 自立	3	3
	一部介助	9	2
	全介助	3	7
	ポータブルトイレ	0	0
	自立	0	0
	一部介助	0	0
	全介助	0	0
	オムツ	14	17
フオーレ	0	0	
入 浴	一般浴（座浴）	18	12
	特浴	11	17

⑥ 食事形態（令和4年3月31日現在）

単位：食（実数）

主食		副食		流動食	経管栄養
米飯	9	常食	6	1	1
粥	14	刻み食	8	/	/
ミキサー粥	4	超刻み食	9		
パン	0	ミキサー食	4		
パン粥	0				

資料2 <余暇活動等>

① 余暇活動の実績

単位：人（延べ数）

月	余暇活動内容	参加人数
7	夏の茶会	17
8	リズム体操	9
9	敬老会	29
10	フラワーアレンジメント	3
	芋煮食事会	10
	リース作り	6
12	クリスマス会	24
1	新年会	20
	リズム体操	2
2	リズム体操	4
合 計		124

② 喫茶・お茶会

	実施回数	延べ参加人数
喫茶	23	404



## (2) グループホーム花の里かつぼ

- 平均介護度は2.68と上がり、転倒骨折による入院者が2名、肺炎による入院者が1名おられたことで空床期間があったが、目標稼働率98.7%は達成できた。今後転倒骨折による入院をいかに減少させるか課題である。
- コロナ禍でもできる地域交流を検討し、桂小学校とのZOOM交流や高校野球部との応援交流、山本野菜マルシェ買い物、ゴミステーション美化活動などの活動を継続し実施できた。また、ご家族や地域住民へ、グループホームの生活の様子やコロナ禍でも元気で過ごしている様子を発信する為、ホームページやインスタグラム・回覧板便りを作成し回覧した。
- 地域運営推進会議を2カ月に1回開催した。地域の方からは「直接の交流が難しい中でも今できるやり方で続けており入居者も生き活きた表情をしていて素晴らしい」等の評価を頂いた。また、外部評価では「コロナ禍で活動の制限が続くなか、ホームでの生活を楽しんでもらえるように心がけている」等の評価を頂いた。
- 栄養士が栄養ケアに関わる事で、入居者の状態や季節の食材を使用した献立・不足している栄養素を取り入れた食事の提供ができた。

### 資料<入居者の状況>

#### ① 入退居の状況

単位：人（実数）

入居前の状況					
状況	在宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病院	合計
R3年度	2	3	1	0	6
R2年度	6	0	1	0	6
退居の状況					
状況	在宅	施設内で死亡	病院入院・老 健等他施設	特養へ入所 ※1（ ）	合計
R3年度	0	0	3	3（3）	6
R2年度	0	2	1	3（1）	6

※1（ ）内は法人内施設への入居された方の数

#### ② 年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要支援2	1	2	3	4	5	合計
	R3年度		0	4	3	7	3	1
R2年度		0	3	5	8	2	0	18

#### ③ 月別利用数

単位：人（延べ数）

R3年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	534	548	539	556	558	540		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	558	531	549	548	474	555		

R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	540	548	540	558	558	539	6,475	98.6%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	557	496	537	541	503	558		

④ 年度介護度別数 単位：人（延べ数）

R3 年度	介護度	要支2	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	0	838	1,740	3,024	702	186	6,490	2.68
R2 年度	介護度	要支2	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	0	1,087	1,824	2,812	682	70	6,475	2.52

⑤ 余暇活動の実績 単位：人（延べ数）

月	余暇活動内容	参加人数
4	花見ドライブ	36（デイ3）
6	ドライブ	2
7	おはぎ作り	20（デイ2）
	悠久山ドライブ	11（デイ2）
	栃尾ドライブ	11（デイ2）
8	夏祭り	21（デイ3）
	イングリッシュガーデンドライブ	11（デイ2）
9	桂小学校オープンガーデン	3
	秋の味覚を楽しむ会	20（デイ2）
10	川口ドライブ	4
	長寿を祝う会	20（デイ1）
11	栃尾ドライブ	9
	みやじさまドライブ	2
12	クリスマス会	19（デイ1）
	忘年会	19（デイ1）
2	長岡駅ドライブ	5（デイ1）
	節分	20（デイ2）
合計		233（デイ22）

⑥ クラブ活動の実績

コロナ禍で活動全般を中止した。

(3) デイサービス花の里かつば

- ・居宅介護事業所と連携を図り、認知症の症状や栄養状態等の細かな情報をご利用者やご家族へ伝え、適切なサービスが提供できるよう努めた。若年性認知症や他サービス利用が困難な方についても、関係機関と連携を図り受け入れを実施した。また、ご利用者個々のニーズに沿って利用調整を行い、楽しみや張り合いのある生活支援に努めた。定員を3名に変更したことに加え、登録利用者の施設入所や入院があり、実人数が減少したため、稼働率は下がり目標稼働率65.4%を達成できなかった。
- ・通所介護サービス計画に基づき、家庭的な雰囲気の中でご利用者の能力に応じた日常生活動作の継続支援や余暇活動、外出活動等を実施することができた。

- ・デイサービスを利用しながらグループホームへの入居を待機する方もおられるため、慣れた環境・顔馴染みの関係性が築かれるように努めた。

## 資料＜利用者の状況＞

### ① 登録者数 単位：人（実数）

区分 年度	長岡市
R3 年度	6
R2 年度	8

### ② 利用者数 単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市	稼働日数	1日あたり 平均人数
R3 年度	706	365	1.93
R2 年度	1,251	365	3.43

### ③ 月別利用数 単位：人（延べ数）

R3 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率	
	人数	64	79	65	44	42	39			706
R2 年 度	月	4	5	6	7	8	9			
	人数	117	132	134	154	135	143	1,251	70.6%	
R3 年 度	月	10	11	12	1	2	3			
	人数	59	66	71	64	57	56			
R2 年 度	月	4	5	6	7	8	9			
	人数	144	149	140	135	136	145			

### ④ 介護度別利用者数 単位：人（延べ数）

R3 年 度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	0	332	218	125	3	28		
R2 年 度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	0	451	296	244	65	195		

## 2. ボランティア・実習生等の受け入れ状況

### ① ボランティアの受け入れ

令和3年度は新型コロナウイルス感染症のまん延や悪天候等により受け入れをできなかった。

### ② 実習・体験実習等の受け入れ

令和3年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により受け入れをできなかった。

### 3. 拠点委員会

#### ① リスク管理委員会

- ・事故を未然に防ぐため、計4回の施設内研修を実施した。研修を通して、気付きが必要であること、気付いたことを発信する事で情報共有できる事を再認識でき事故を未然に防ごうという意識も高まった。また、アクシデント発生後、1週間後、3週間後の各検討会議を行うことで対策の確認と再周知を実施した。あわせて事故防止マニュアルの見直しを行なった。

#### ② 食事サービス委員会

- ・検食簿の評価を行うことで、安全・安心の食事提供を行った。
- ・入居者に聞き取りによる食事満足度調査を行った。要望については、その後の献立で取り入れ対応していくことができた。
- ・ふれあい畑で野菜を栽培し、収穫・調理を行い、入居者と共に旬の味覚を楽しむことができた。

#### ③ 感染対策委員会

- ・食中毒、感染予防研修、嘔吐物処理の方法について年2回の研修を行った。
- ・委員会から職員に感染予防についての注意喚起を行うことで今年度は感染症の発生はなかった。
- ・新型コロナウイルス対策としてマニュアルを作成し発生時の訓練を実施した。また県内の感染状況の確認を行い施設内で共有することが出来た。職員に対し感染対策の基本的な行動や働きかけを徹底し、感染予防に対する意識を高めることができた。今後も主治医及び協力病院との連携を図り感染予防を行い、新型コロナウイルスに対し日頃から準備し訓練を行っていきたい。

#### ④ 労働衛生委員会

- ・職員の定期健康診断を実施し、要医療の結果の職員には受診するよう声かけを実施し早期治療に繋げることができた。メンタルヘルスについてはストレスチェックの実施により自分のストレスの状態を確認してもらうことができた。「メンタルヘルスの必要性、こころが発信する不調のサインに気付く」の研修を実施しストレスとの向き合い方を学ぶことができた。腰痛予防についての研修会を実施することができなかった。

#### ⑤ 身体拘束等廃止適正化委員会

- ・身体拘束防止と虐待防止に関する職員研修会を年2回実施し、職員への意識向上を図り理解を深めることができた。
- ・グレーゾーンの事例集を作成すると共に毎月ユニット会議で不適切と感じるケアについて話し合いの場を設けた。その結果全職員の意識付けが図れ、自分のケアを振り返るようになった。
- ・見守り機器の使用者について定期的に効果検証を行い、夜間帯の事故防止に努めた。令和3年度の検証はリスク管理委員会で実施することとした。

#### ⑥ 園芸委員会

- ・新型コロナウイルスの影響で春の花壇イベントは中止し、花壇整備活動として法人職員のみで実施した。秋の花壇イベントも中止したが、春と同様に花壇整備活動として花華クラブとの合同で実施した。例年通りの花数を植えることが出来た。また、日頃の花壇整備として花壇のレイアウトの考案や草取り、花がら摘みや切り戻し等を行うことができた。夏場の花壇の水やりは全職員協力のもと実施出来た。長岡市の花いっぱいコンクールでは職場の部で

「優良賞」を頂いた。

⑦ 防災委員会

- ・防災計画に基づき、初期消火訓練・放送設備訓練・緊急連絡網訓練等の部分訓練をはじめ、水害・土砂災害想定、地震・原子力発電所トラブル災害想定、夜間火災想定総合避難訓練を実施した。総合避難訓練では職員同士の連携内容と伝達に使用するトランシーバーの使用方法に課題があった。
- ・災害時、避難をした場所にて各入居者の身体状況や内服薬情報がすぐに把握できるように「避難時入居者情報」を作成した。看護とともに連携を図り、情報がすぐに更新できる体制を整えた

⑧ 痰の吸引等安全対策委員会

- ・医師より痰の吸引の指示を受けている入居者はいなかった。職員に対して安全に痰の吸引ができるように実技研修を行なった。その他物品の点検、管理を定期的に行なった。

4. 苦情（意見）内容

0件

【シルバーハウジング生活援助員派遣事業】

市内3か所のシルバーハウジングに対し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、生活相談、安否確認や緊急対応などを行う「生活援助員（LSA）」を派遣した。（長岡市の受託事業）

令和3年4月1日～令和4年3月31日

シルバーハウジング稽古町

稽古町団地県営住宅のうち20戸（平成13年から）

緊急呼出し件数	内容（対応）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	誤報	0	0	0	1	1	0	2	2	4	4	5	4	23
救急車手配												1	1	
市役所連絡													0	
家族連絡								1					2	3
医療・福祉機関連絡														0
その他														0
入退室状況	住替え（施設入所等）						1		1					2
	入院等				1			2					1	4
	他界						1							1
	その他													0

誤報については、ご利用者が触れてしまったことが主な要因。また冬場は複数の暖房器具使用によるブレーカーが落ちたことによる通報が多くあった。

シルバーハウジング千歳

千歳団地市営住宅のうち20戸(平成18年から)

	内容(対応)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		緊急呼出し件数	誤報	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	
救急車手配					1									1
市役所連絡														0
家族連絡														0
医療・福祉機関連絡					1									1
その他														0
入退室状況	住替え(施設入所等)													
	入院等		1		1	1	2			1	1			7
	他界													0
	その他			1					1					2

他のシルバーハウジングと比較し、状態変化が少ない年が続いていたが、入居者の高齢化により入院者や介護保険等のサービスを利用する方が増えた。

シルバーハウジング稲葉

稲葉団地市営住宅のうち20戸(平成26年から)

	内容(対応)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		緊急呼出し件数	誤報	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	
救急車手配					1									1
市役所連絡														0
家族連絡														0
医療・福祉機関連絡					1									1
その他														0
入退室状況	住替え(施設入所等)				1									
	入院等		1		1	1	2			1	1			7
	他界													0
	その他								1					1

入院者が多いが特定の方が持病により複数回入院されていることが要因。その他の入居者は大きなトラブルもなく生活されている。